

処理機能記述	研究班サーバーシステム	作成日 平成 17 年 4 月 1 日
	E.f.1 研究班施設利用履歴画面処理	作成者 フィンガルリンク(株)

1. 「研究班施設利用履歴」画面表示

(1) 表示項目の詳細

ア. 研究班参加施設のコード、名称を表示

イ. 検査部門から SSI 部門までの 5 部門ごとの、本システムへのアクセス回数を表示

2. 各ボタン/リンクの処理および画面遷移

(1) 各ボタン押下/リンクフィールドクリック時の詳細

ア. 戻るボタンを押下すると、管理者用メニュー画面に遷移する



画面レイアウト	研究班サーバーシステム	作成日 平成17年3月31日
	RGMGRO1 管理者用ログイン画面	作成者 フィンガルリンク様

院内感染対策サーベイランス  
研究班サーバーシステム

【管理者用ログイン画面】

ユーザID

パスワード

ログイン

備考欄

1. 研究班用サーバーシステムの管理者ユーザID、パスワードを入力して“ログイン”ボタンを押下すると、設定済み認証情報のチェックの後にメニュー画面に遷移する。  
認証において失敗すると、登録されていない旨のメッセージが送出される。

画面レイアウト	研究班サーバーシステム	作成日 平成17年3月31日
	RGMGR02 管理者用メニュー画面	作成者 フィンガルリンク(株)

院内感染対策サーベイランス  
**研究班サーバーシステム**  
**【管理者用メニュー画面】**

XXXXXXXX 病院      XXXXXXXX

研究班参加施設一覧     

利用履歴     

**備考欄**

1. "研究班参加施設一覧"の表示ボタンを押下すると、研究班参加施設の登録状況一覧表示画面に遷移する
2. "利用履歴"の表示ボタンを押下すると、研究班参加施設からの本システムの利用状況一覧表示画面に遷移する

画面レイアウト	研究班サーバーシステム	作成日 平成17年3月31日
	RGMGR03 研究班施設一覧画面	作成者 フィンガルリンク(株)

院内感染対策サーベイランス  
研究班サーバーシステム  
【研究班施設一覧画面】

			事業参加	検査部	全入院	ICU	NICU	SSI
更新	04001	東北大学医学部附属病院	○	○		○		
更新	05001	秋田大学医学部附属病院	○	○		○		
更新	10001	群馬大学医学部附属病院	○	○		○		
		↘ ↘ ↘						
更新	99999	XXXXXXXXXXXX 病院	×				○	
		↘ ↘ ↘						
更新	47001	琉球大学医学部附属病院	○	○		○		

追加

戻る

備考欄

1. 研究班参加施設一覧中の更新欄をクリックすると、研究班施設参加情報更新画面に遷移する（各表示欄には当該施設の登録済み内容が初期表示される）
2. 追加ボタンを押下すると、研究班施設参加情報更新画面に遷移する（各表示欄は空白）

画面レイアウト	研究班サーバーシステム	作成日 平成17年3月31日
	RGMGR04 研究班施設参加情報更新画面	作成者 フィンガルリンク(株)

院内感染対策サーベイランス  
研究班サーバーシステム

【研究班施設情報更新画面】

99999 XXXXXXXXXXXX 病院

JANIS 事業参加  ▼

検査部門  ▼

全入院患者  ▼

ICU 部門  ▼

NICU 部門  ▼

SSI 部門  ▼

備考欄

1. 表示当該施設について、JANIS 事業の参加、非参加、各部門研究班参加、非参加を選択して、更新ボタンを押下すると参加情報が更新される
2. 新規追加の場合は、施設コード欄クリックにより施設コード表一覧が表示され、そこから選択することにより設定が可能となる。  
なお、表示された JANIS 事業の参加施設コード表に登録されていない施設については、別途運用管理者に追加依頼の後に本処理を行う。

画面レイアウト	研究班サーバーシステム	作成日 平成17年3月31日
	RGMGR05 施設コード表一覧画面	作成者 フィンガルリンク(株)

院内感染対策サーベイランス  
研究班サーバーシステム  
【施設コード表一覧画面】

04001	東北大学医学部附属病院	▲
05001	秋田大学医学部附属病院	
10001	群馬大学医学部附属病院	
99999	XXXXXXXXXXXX 病院	▼
47001	琉球大学医学部附属病院	

**備考欄**

1. 当該施設を選択して決定ボタンを押下すると、研究班施設参加情報更新画面に遷移して選択施設が表示される

画面レイアウト	研究班サーバーシステム	作成日 平成17年3月31日
	RGMGR06 研究班施設利用履歴画面	作成者 フィンガルリンク(株)

院内感染対策サーベイランス  
研究班サーバーシステム  
【利用履歴一覧画面】

	検査部	全入院	ICU	NICU	SSI
04001 東北大学医学部附属病院			99		
05001 秋田大学医学部附属病院			99		
10001 群馬大学医学部附属病院		99	99		
	↘	↘	↘		
99999 XXXXXXXXXXXX 病院					99
	↘	↘	↘		
47001 琉球大学医学部附属病院			99		

戻る

備考欄

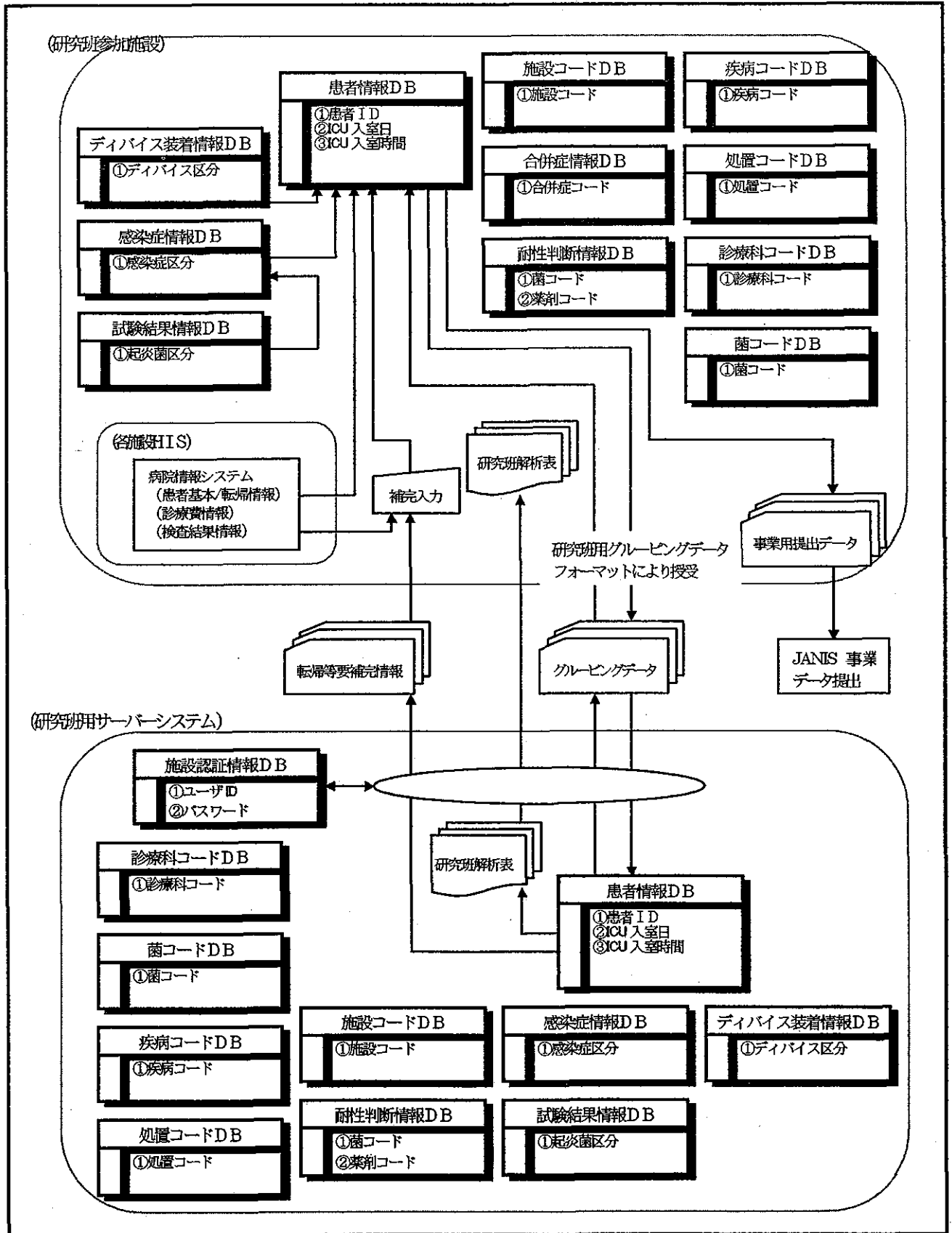
1. 各研究班参加施設ごとの、部門別利用履歴（アクセス回数）を表示する



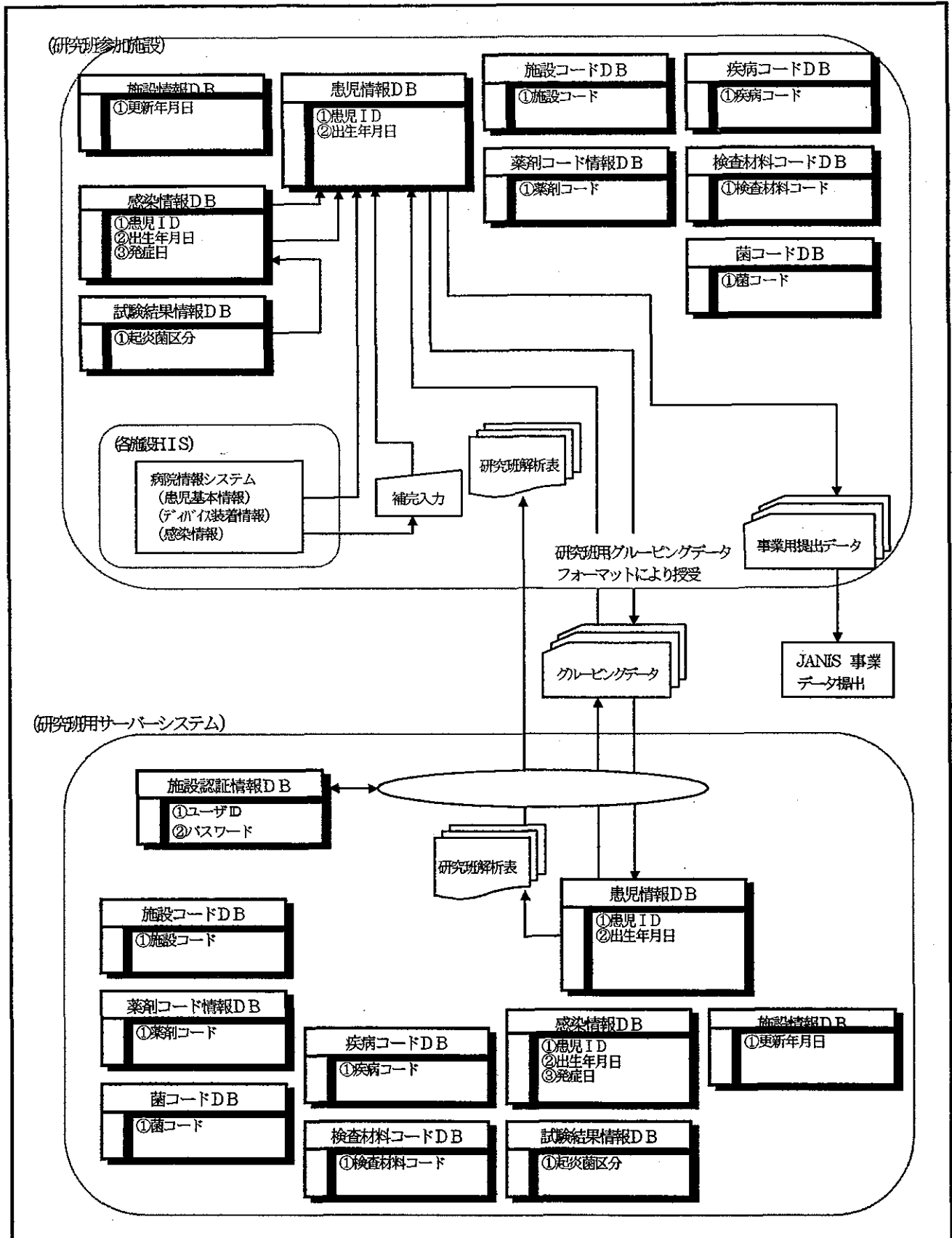
## 第V章 データファイル設計

1. データベース関連図 .....	V-2頁
--------------------	------

データベース関連図	研究班サーバーシステム	作成日 平成 17 年 3 月 31 日
	集中治療部門	作成者 フィンガルリンク(株)



データベース関連図	研究班サーバーシステム	作成日 平成 17 年 3 月 31 日
	新生児集中治療部門	作成者 フィンガルリンク(株)



## 第VI章 外部コード設計

1. 外部コード一覧 .....	VI-2頁
2. 外部コード表 .....	VI-3頁



外部コード一覧表	研究班サーバーシステム	作成日 平成17年4月1日
		作成者 フィンガルリンク(株)

外部コード表	研究班サーバーシステム	作成日 平成 17 年 4 月 1 日
		作成者 フィンガルリンク(株)

種別 コード	種別コード名称	桁数	初期値	付与方式
101	施設コード	5	"00000"	選択/入力

コード内訳	備考
2桁 ..... 都道府県コード (01~47) 3桁 ..... 都道府県内連番 (01~999)	JANIS 事業で使用している施設コードを用いることとして、事業非参加施設についての試行/暫定採番規定について別途検討する。

外部コード表	研究班サーバーシステム	作成日 平成 17 年 4 月 1 日
		作成者 フィンガルリンク(株)

種別 コード	種別コード名称	桁数	初期値	付与方式
102	部門コード	1	スペース	選択/入力

コード	コード名称	備考
1	検査部門	
2	全入院患者	
3	集中治療部門	
3	新生児集中治療部門	
4	手術部位感染部門	



外部コード表	研究班サーバーシステム	作成日 平成17年4月1日
		作成者 フィンガルリンク(株)

種別 コード	種別コード名称	桁数	初期値	付与方式
103	事業参加区分	1	"0"	選択/入力

コード	コード内訳	備考
0	事業非参加	
1	事業参加	



## Ⅱ. 分担研究報告書

## Neonatal Intensive Care Unit における院内感染のリスク評価

分担研究者 畝 博 福岡大学医学部

### 〔研究要旨〕

Neonatal Intensive care Unit (NICU) 感染症サーベイランスのデータを用いて、NICU における院内感染のリスク評価を行った。

NICU 感染症サーベイランスに参加している 7 医療機関から報告された 2002 年 6 月から 2003 年 1 月までの NICU 入院患者 871 人（男 465 人、女 406 人）を分析対象とした。

Multiple Logistic Regression Analyses の結果、院内感染に対するオッズ比は、出生時体重と IVH で有意な上昇がみられた。すなわち、出生時体重 1500g 以上を reference とした時、1000～1499g で 2.35、1000g 未満で 8.82 であった。また、IVH のオッズ比は 2.27 であった。出生時体重別・IVH 別院内感染率をみると、出生時体重 1500g 以上・IVH (-) では 2.4% であったものが、出生時体重 1000g 未満・IVH (+) では 32.7% に達していた。

院内感染症例 58 例のうち、15 例が MRSA であった。出生時体重別 MRSA 感染率は、1500g 以上が 0.3%、1000～1499g が 2.1%、1000g 未満が 11.1% であり、MRSA 感染率は出生時体重が低下するにしたがい急上昇した。Multiple Logistic Regression Analyses の結果、出生時体重 1500g 以上を reference とした時、1000～1499g で 7.25、1000g 未満で 42.88 であり、それぞれ有意であった。デバイスでは、いずれも有意なリスクの上昇はみられなかった。

### A. 研究目的

NICU 感染症サーベイランスのデータを用いて、出生時体重別・IVH (Intravenous Hyperalimentation) 別の院内感染率および出生時体重別 MRSA 感染率を求めた。また、Multiple Logistic Regression Analyses により、院内感染および MRSA 感染に対するリスク要因について検討したので報告する。

### B. 研究方法

NICU 感染症サーベイランスのデータを用いた。NICU 感染症サーベイランスに参加している 9 医療機関のうち、症例数の少ない 2 医療

機関を除いた 7 医療機関から報告された 2002 年 6 月から 2003 年 1 月までの NICU 入院患者 871 人（男 465 人、女 406 人）を分析対象とした。

院内感染のリスク評価は Multiple Logistic Regression Analyses により実施した。

### C. 研究結果

1. 出生時体重別・IVH 別院内感染率（表 1～3）

出生時体重別・IVH 別院内感染率をみると、1000～1499g・IVH (+) 群を除いて、出生時体重が低くなるにしたがい、また、IVH を行って